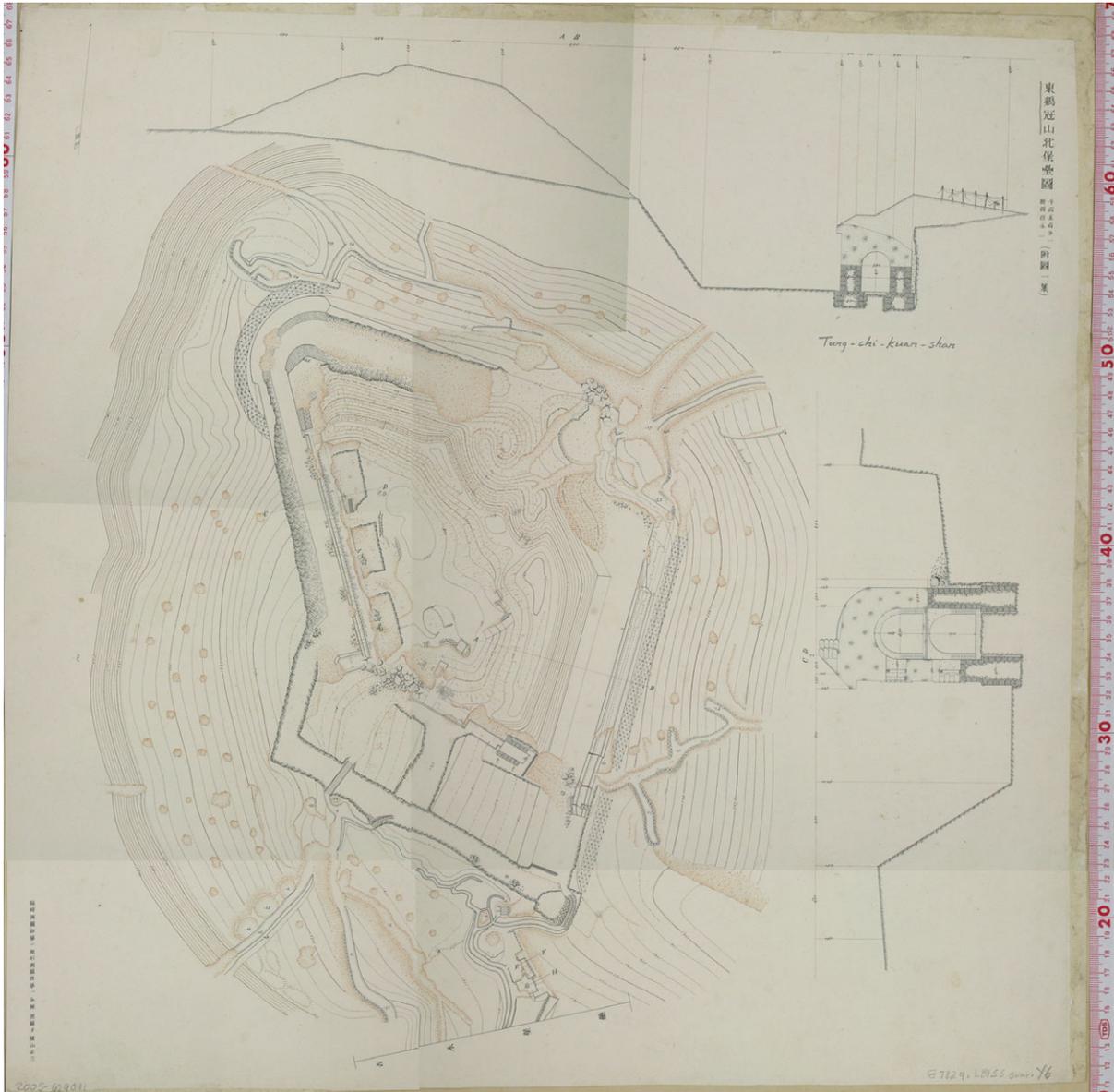


# 外邦図研究 No. 8

## ニューズレター

平成21年度科学研究費補助金(基盤研究[A][1] 課題番号:19200059)  
「アジア太平洋地域の環境モニタリングにむけた地図・空中写真・気象観測資料の集成」  
平成22年度への繰越金による研究成果報告書



東鷄冠山北堡壘圖(アメリカ議会図書館地理・地図部[Geography and Map Division, Library of Congress]蔵、G7824.L8955 SVAr y6、57.2×58.1cm)

本図は分割撮影した6枚の写真を接合したもので、描かれた図の縮尺は平面図が500分の1、断面図が100分の1である。東鷄冠山北堡壘は、日露戦争の旅順攻囲戦の激戦地で、ロシア側の名将、コンドラチェンコ少将が日本軍の砲撃で戦死した場所としても知られている。日本軍は塹壕ならびに坑道によって東方からこの堡壘にアプローチし、1904年12月18日に胸墻を爆破して堡壘内に進入して占領した。1905年1月の旅順陥落後間もないときに臨時測図部第一地形測図班第一分班の測量技術者、横山正三が描いたもので、爆破により破壊された胸墻や、それにアプローチする塹壕や坑道も細密に示している(本誌23頁以下参照)。

### 外邦図研究グループ

大阪大学大学院文学研究科人文地理学教室  
〒560-8532 大阪府豊中市待兼山町1-5  
<http://www.let.osaka-u.ac.jp/geography/gaihouzu/>

2011年3月